

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 透析シャントが冠動脈バイパス手術に与える影響の検討

研究の目的

腎臓病の増加により、透析患者さんが冠動脈バイパス手術を受けることが多くなっています。透析患者さんの多くは透析を受けるために、左右どちらかの腕の動脈と静脈をつなげる手術を受けます。この動脈と静脈をつなぎ合わせた血管のことをシャントといいます。よって、透析患者さんの多くは透析に使用するシャントを左右どちらかの腕に有しています。しかし、透析シャントと同じ側の内胸動脈をバイパスに使用することでバイパス血流に不具合が生じる可能性があると考えられていますが、詳しく明らかにされていません。我々は冠動脈バイパス手術を受けた透析患者さんにおいて、シャントが左前腕か右前腕かによって冠動脈バイパスの急性期閉塞率や手術中のバイパス血流量に差がないかを調べます。

研究実施期間： 2022年5月27日～2023年3月31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2013年1月1日～2021年12月31日までの間、附属病院心臓血管外科を受診し、冠動脈バイパス手術を受けられた方のうち、透析を受けられている方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、周術期情報について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、手術時の年齢、術前術後心臓超音波検査所見、術中トランジットタイム血流測定結果について統計解析的手法を用いて比較します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

呼吸器外科・心臓血管外科・佐々木花恵 geka1@hirosaki-u.ac.jp